

副産物情勢

8月13日 更新

J A 全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考																								
内臓	1.国産牛	○ 6月の成牛と畜頭数は、84.7千頭(前年比95.8%)と前年を下回った。 内訳を見ると、和牛:41.7千頭(前年比102.6%)、交雑牛:19.7千頭(同93.1%)、乳牛去勢:10.9千頭(同97.5%)となった。 ○ 7月の成牛と畜頭数は、速報値(7月31日まで集計)で96.9千頭(前年比101.7%)と前年を上回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(7月29日公表)によると、7月の出荷頭数は、全品種で増加が見込まれることから、前年を上回ると予測する。 8月は、交雑種の出荷頭数が増加するものの、和牛、乳用種で減少が見込まれることから、前年同月を下回ると予測する。 (7月 101.1千頭(前年比105.6%)、8月 84.8千頭(同98.8%)) ○ 需 給 動 向 : 赤物は引き続きタン・ハラミ・ホホ・テール等の引き合いが強く、在庫がひっ迫している。レバーは昨年より動きが落ち着いており市中在庫が増えてきている。 白物は全体的に荷動きは芳しくなく、特に小腸が停滞している。ふるさと納税の制度変更、輸入品が拡大した影響等により需給が緩み、値下がり傾向が継続している。	1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月 1日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和3年4月 26日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和3年10月 18日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年2月7日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和4年4月4日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年8月8日</td><td>45</td><td>9</td></tr></table> ※乳牛も同様45円/kg *豚正貫物	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 1日	35	7	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	令和3年4月 1日	35	7																								
令和3年4月 26日	25	5																									
令和3年10月 18日	35	7																									
令和4年2月7日	25	5																									
令和4年4月4日	35	7																									
令和4年8月8日	45	9																									
2.国産豚	○ 6月の全国豚と畜頭数は、1,193千頭と前年を下回った。(前年比89.9%) 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道90.4%、東北87.0%、関東87.8%、北陸甲信越85.0%、東海90.9%、近畿93.8%、中四国92.0%、九州・沖縄93.2% ○ 7月の全国と畜頭数は、1,310千頭(速報値7月31日まで集計、前年比105.0%)と前年を上回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より2日多く、1日当たりの平均と畜頭数は59,545頭(前年実績:62,970頭/日、前年差▲3,425頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;7月24日付け)によると、8月;1,294千頭(前年比100%)、9月;1,323千頭(同102%)、10月;1,432千頭(同100%)、11月:1,468千頭(同99%)、12月:1,485千頭(同102%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約100%と前年並みの見込み。 ○ 需 給 動 向 : 全体的に冷蔵品は堅調な荷動きであり、特にホホ・コメカミ・タン・ハラミについては、夏場の需要増加により好調推移。 一方レバー、ハツ、小腸をはじめ、凍結品は全体的に停滞気味なものの、と畜頭数が減少傾向にあり、発生量が抑えられているため荷余り感はまだ薄い。	2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年3月 11日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和3年4月19日</td><td>25</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年10月 15日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年2月1日</td><td>25</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年3月28日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年8月1日</td><td>45</td><td>5</td></tr></table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年3月 11日	35	4	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
令和3年3月 11日	35	4																									
令和3年4月19日	25	3																									
令和3年10月 15日	35	4																									
令和4年2月1日	25	4																									
令和4年3月28日	35	4																									
令和4年8月1日	45	5																									
3.輸入牛	○ 6月の輸入通関実績は、全体で47.6千トと前年を上回った(前年比108.9%、前月比98.0%)。 内訳ではチルド:17.7千トン(前年比107.4%、前月比99.6%)、フローズン:29.8千ト(前年比109.8%、前月比97.0%)となった。 輸入相手国別では、チルド・フローズンともに豪州、ニュージーランド、カナダが増加した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、現地相場高の影響により米国産の減少が見込まれることから、7月、8月ともに前年同月を下回ると予測する。フローズンは、7月は前年同月の輸入量が少なかったことから上回ると予測する。8月は、相場高の影響による米国産の減少が見込まれることから前年並みと予測している。3か月平均では、チルドは下回り、フローズンは上回ると見込んでいる。 令和6年 7月 合計:45.9千ト(前年比118.6%)、チルド:17.5千ト(同90.4%)、フローズン:28.4千ト(同147.1%) 令和6年 8月 合計:45.1千ト(前年比98.8%)、チルド:16.8千ト(同97.1%)、フローズン:28.3千ト(同99.9%) ○ 輸入牛内臓実績(令和6年6月):牛腸(冷凍) ;1,148.6ト(前年比111.1%・前月比78.2%) 国別実績;米国845.8ト、豪州118.0ト、カナダ98.3ト、メキシコ74.8ト、スペイン11.6ト 牛レバー(冷凍);52.9ト(前年比48.9%・前月比36.2%) 国別実績;豪州27.2ト、米国13.6ト、メキシコ12.0ト	3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和牛)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年7月22日</td><td>700</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>500</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月15日</td><td>100</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月20日</td><td>100</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年5月24日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月16日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	令和5年10月16日	10	2	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
令和元年7月22日	700	10																									
令和2年3月16日	500	10																									
令和2年6月15日	100	10																									
令和2年7月20日	100	2																									
令和2年9月28日	10	2																									
令和3年5月24日	10	10																									
令和5年10月16日	10	2																									
原皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 6 年 6 月) : 47,185枚(前年比93.7%、前月比115.9%) 国別実績;タイ35,610枚(前年比114.2%)、韓国9,355枚(同113.3%)、フィリピン1,670枚(前年実績なし)ベトナム550枚(同8.1%) 輸出平均価格(令和6年6月):2,782円/枚(前年差+416円、前月差+58円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 6 年 6 月) : 牛大判皮20,720枚(前年比94.6%、前月比91.2%)、ウェットブルー22,343枚※(同247.7%、同76.4%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和6年6月):牛大判皮8,892円/枚(前年差+1,318円、前月差+432円)、ウェットブルー11,146円/枚(同+3,122円、同+311円) ○ 海 外 情 勢 : 円安の影響で底値からは回復しているものの運賃上昇等のコストは吸収できていない。国内、海外共に最低ラインでの生産が続いている。 ○ 国 内 情 勢 : 皮革製品需要の減少やタンナーの人手不足等により国内産皮革の流通量が落ち込んでいる。また安値で原皮が流通している。	4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和ヌキ)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年8月15日</td><td>1,000</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>800</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月22日</td><td>300</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月27日</td><td>300</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年6月1日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月23日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10	令和5年10月23日	10	2
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																								
令和元年8月15日	1,000	10																									
令和2年3月16日	800	10																									
令和2年6月22日	300	10																									
令和2年7月27日	300	2																									
令和2年9月28日	10	2																									
令和3年6月1日	10	10																									
令和5年10月23日	10	2																									
2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 6 年 6 月) : 959,496枚(前年比86.4%、前月比102.4%) 国別実績;タイ777,036枚(前年比85.0%)、カンボジア83,600枚(同68.0%)、ベトナム74,400枚(同195.8%)、韓国24,460枚(同69.7%) 輸出平均価格(令和6年6月):431円/枚(前年差+29円、前月差+18円) ○ 需 給 動 向 : 円安のため輸出価格は上がっているが、海外タンナーの在庫過多の状況は続いている。 7月以降については夏場の長期保管を避けるため、タンナーが買い控えとなると下落が予想される。	5.食用加工油脂価格 単位:円/kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛脂</th><th>豚脂</th></tr><tr><td>令和4年4月1日</td><td>175</td><td>170</td></tr><tr><td>令和4年7月1日</td><td>195</td><td>190</td></tr><tr><td>令和5年1月1日</td><td>175</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年4月1日</td><td>165</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年7月1日</td><td>155</td><td>165</td></tr><tr><td>令和5年10月1日</td><td>145</td><td>155</td></tr><tr><td>令和6年7月1日</td><td>145</td><td>145</td></tr></table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和4年4月1日	175	170	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165	令和5年10月1日	145	155	令和6年7月1日	145	145	
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
令和4年4月1日	175	170																									
令和4年7月1日	195	190																									
令和5年1月1日	175	175																									
令和5年4月1日	165	175																									
令和5年7月1日	155	165																									
令和5年10月1日	145	155																									
令和6年7月1日	145	145																									
レンダリング	1.油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(8月渡し):牛脂145円/kg(前年差△10円、前月差±0円)、豚脂145円/kg(同△20円、同±0円) 牛脂は、ファストフードチェーンの業績は堅調なものの、カレールウの需要減少が影響し、需給は緩和している。 豚脂は、生産量が堅調なことに加え、需給ひっ迫時に調製ラードへ移行した需要が純製ラードへ完全には戻らない等、消費量が減少していることから需給は緩和している。 ○ マレーシア産パーム油相場(7月):169円/kg(前年差+16円、前月差△3円) 6月生産量は161万トン(前月比94.8%)、輸出量は120万トン(同87.2%)、月末在庫は182万トン(同104.3%)となった。 大手ユーザー国が輸入量を増やす時期であることに加え、バイオ燃料の需要が堅調であることから、増産期での生産量が相場を左右すると予想される。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (7 月) : 114円/kg(前年差△30円、前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (7 月) : 95円/kg(前年差△20円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(7月):123円～126円/kg程度(前年差△20円、前月差±0円)																									